



みどりの女神の

佐野加奈です！

林業機械運転初お披露目 ～2015森林・林業・環境機械展～

皆様こんにちは！
10月9日から12日まで、第39回全国育樹祭を中心にごくさんのイベントがあった岐阜県に伺いました。

初日は、郡上市で育林技術交流会でのトークショー、翌日は全国育樹祭に参列。最終日は、飛騨高山のスキー場で行われた2015森林・林業・環境機械展で、一日中、林業機械達と触れ合いました！

この林業機械展は、60社を超える参加企業が自慢の機械達を出展します。一般のお客様も多数来場されるということで、展示の見せ方が大胆かつカッコイイ！

私自身も、初めて目にする機械ばかりで終始興奮気味でした。林木を相手にする機械は、その多くが大きくて迫力がありますね。圧倒されました！

今回の私の役目はそうした機械を実際に運転することです。

今年の6月に車両系建設機械運転免許を取得し、運転経験はあるものの、初めて皆様の前でお披露目するという事でとても緊張しました。

ドキドキを抑えながら、まずはイワフジ工業株式会社さんのブースでは、フォワードの運転に挑戦！ここでは、丸太を掴んで荷台に載せる動作を行いました。作業がとてもスムーズです。同じ作業を人力で行うとなるととても大変な努力です。

次に、オカダアイヨン株式会社さんのブースでは、アイヨンと作木材の切断・小割機で約50cmの丸太の切断を行いました。この機械は、360°自由に旋回して切り易い位置に刃を合

わせ、タイプの違う2つの刃で切断します。切れ味バツグンです。こちらは操作にスピード感な印象がありました。

最後に、住友建機販売株式会社さんのブースでは、ザウルスロボ(グラップル機能付バケット)で丸太の移動を行いました。丸太長さ30cm、直径20cmをつかみ、それを別の丸太の上に積み重ねる、という難易度の高い作業なので、できるかどうか心配でしたが、微調整を繰り返して成功しました。私のような初心者でも「微調整ができる」ということがウリだそうです。繊細な動きをするんですね！

同社のブースには、ドイツのKESLA社のアタッチメントを使用した機械もあり、林業の進んだ国同士で連携しあっていることを知りました。

こうして多くの機械を運転してみて、改めて林業機械の技術の発達や作業効率の良さに感動しました。しかし、感銘を受けたのと同じに機械の安全についても考えさせられました。高度な機械であっても、常に危険と隣り合わせであることは変わりません。機械の中にいると、自然と自分の身が守られているような気がして不注意になりがちです。私は運転していてそう考えました。

周りに気を配り、安全に配慮しながら作業をすることは、慣れてくるとおろそかになっってしまうことだと思えます。作業が簡単でも難しくても、機械が大きくても小さくても、自分がどんな仕事をしているのか意識しながら、安全に気を配って励んでもらいたいなと思います。

PROFILE



平成6年3月23日、静岡県生まれ。2015年ミス日本みどりの女神として活躍中！

佐野
加奈

